

▼柳生又十郎

原作並脚色者
柳生又十郎
監督者
大久保彦左衛門
磯端伴藏

主要役割
柳生又十郎
柳生但馬守
大久保彦左衛門
磯端伴藏
鈴川新九郎
柳生家光
柳の花
雪野
尾上松二郎氏
鶴子嬢
久野あかね嬢
松枝
浅野
片岡童十郎氏
阪東豊昇氏
高橋節氏
江後勝雄氏
高橋岳翠氏
武利氏

撮影者

帝キホ時代映畫
勝本
江後



「柳生又十郎」帝キホ江後岳翠氏作品
真右より松枝鶴子嬢さ松本田三郎氏

略筋——將軍家剣道の指南役柳生但馬守の三男又十郎は武術を嫌ひ日夜遊里の巷に入漫り遊女卯の花の情に溺れてゐた。あまりのこゝに父但馬守は涙を呑んで勘當した。それを知つた卯の花は情夫鈴川新九郎と共に散々

解説——「平手造酒」について江後岳翠氏が監督製作した時代劇である。

に彼を辱しめた。初めて目覺め自分の愚さをつた又十郎は或る山中に隱遁生活をする内裡端知伴藏を尋ね其處にて一心に武術修業を勵んだが遂に其奥深を極め師匠の言葉により伴藏の娘雪野を連れ江戸へと旅立った。其途中圖らすも賊となつた新九郎と卯の花に出会い遂に彼等二人を救ひた。江戸へ立歸つた又十郎は大久保彦左衛門の情けにより將軍家御前に於て但馬守と左衛門の守も一步を譲つたが彼の手腕は流石の但馬守を仰せつけられた。將軍家は親子の對面をする様に仰せられた相手言葉もなかつた。其後彦左衛門の蕨介で又十郎に雪野と結婚したのであつた。